患者向医薬品ガイド

２０２４年7月更新

インチュニブ錠１ｍｇ
インチュニブ錠３ｍｇ

【この薬は？】

販売名	インチュニブ錠１ｍｇ intuniv　Tablets　１ｍｇ	インチュニブ錠３ｍｇ intuniv　Tablets　３ｍｇ
一般名	グアンファシン塩酸塩 Guanfacine　Hydrochloride	
含有量 （１錠中）	１．１４ｍｇ （グアンファシンとして１ｍｇ）	３．４２ｍｇ （グアンファシンとして３ｍｇ）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。

・この薬は、α_{2A}アドレナリン受容体に作用し、脳内の神経伝達物質の働きを調節することにより注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）の症状を改善します。

・次の病気の人に処方されます。

注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）

・６歳未満の幼児における有効性および安全性は確立していません。

・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。
・過去にインチュニブ錠に含まれる成分で過敏症のあった人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・房室ブロック（第二度、第三度）のある人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・低血圧、起立性低血圧、徐脈、心血管疾患のある人、または過去にこれらの症状のあった人、血圧を低下または脈拍数を減少させる薬剤を飲んでいる人
・高血圧のある人、または過去に高血圧のあった人
・不整脈のある人、または過去に不整脈のあった人、先天性ＱＴ延長症候群の人、またはＱＴ延長を起こすことが知られている薬剤を飲んでいる人
・狭心症および心筋梗塞などの虚血性心疾患のある人、または過去にこれらの症状のあった人
・脳梗塞などの脳血管に障害のある人
・抑うつ状態にある人
・腎臓に重度の障害のある人
・肝臓に重度の障害のある人
・授乳中の人

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

〇高度な血圧低下、脈拍数の減少があらわれ、失神にいたることがありますので、この薬を使用する前に血圧や脈拍数の測定が行われます。

〇心血管系への影響（高度な徐脈、低血圧、ＱＴ延長など）があらわれることがありますので、この薬を使用する前に心電図における異常の有無について確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの体重、症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

〔１８歳未満の場合〕

体重に応じて、開始用量を飲み始めてから、１週間以上の間隔を空けて１ｍｇずつ、維持用量まで増やします。
ただし、最高用量を超えることはありません。

販売名		インチュニブ錠１ｍｇ・インチュニブ錠３ｍｇ		
１日量	体　重	開始用量	維持用量	最高用量
	１７ｋｇ以上 ２５ｋｇ未満	１ｍｇ	１ｍｇ	２ｍｇ
	２５ｋｇ以上 ３４ｋｇ未満	１ｍｇ	２ｍｇ	３ｍｇ
	３４ｋｇ以上 ３８ｋｇ未満	１ｍｇ	２ｍｇ	４ｍｇ
	３８ｋｇ以上 ４２ｋｇ未満	１ｍｇ	３ｍｇ	４ｍｇ
	４２ｋｇ以上 ５０ｋｇ未満	１ｍｇ	３ｍｇ	５ｍｇ
	５０ｋｇ以上 ６３ｋｇ未満	２ｍｇ	４ｍｇ	６ｍｇ
	６３ｋｇ以上 ７５ｋｇ未満	２ｍｇ	５ｍｇ	６ｍｇ
	７５ｋｇ以上	２ｍｇ	６ｍｇ	６ｍｇ
飲む回数		１日１回		

〔１８歳以上の場合〕

開始用量を飲み始めてから、１週間以上の間隔を空けて１ｍｇずつ、維持用量まで増やします。

ただし、最高用量を超えることはありません。

販売名	インチュニブ錠１ｍｇ・インチュニブ錠３ｍｇ		
１日量	開始用量	維持用量	最高用量
	２ｍｇ	４～６ｍｇ	６ｍｇ
飲む回数	１日１回		

●どのように飲むか？

この薬を割ったり、砕いたり、すりつぶしたりしないで、そのままかまずにコップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

医師または薬剤師に相談してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合は、低血圧、徐脈（めまい、立ちくらみ、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う）、使用初期の一過性の高血圧、嗜眠（刺激がないと眠ってしまう）、呼吸抑制（呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる）などの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を使用する前に、患者さん（小児の場合には患者さんやその保護者またはそれに代わる方）は、この薬の治療上の位置づけ、副作用発現などのリスクについて医師または薬剤師から十分に理解できるまで説明を受けてください。
・この薬を長期間使用する場合には、定期的にこの薬の有用性の評価が行われます。
・高度な血圧低下、脈拍数の減少があらわれ、失神にいたることがあるので、飲む量を変更した１～２週間後などに血圧や脈拍数の測定が行われます。最適な飲む量が決まった後でも、４週ごとに血圧や脈拍数の測定が行われます。また、この薬の使用による脱水に注意し、脱水の症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
・心血管系への影響（高度な徐脈、低血圧、ＱＴ延長など）があらわれることがあるので、次の点に注意して使用されます。
　１）心血管疾患がある人、若しくは過去に心血管疾患があった人、または使用前に心電図に異常がみられた人は、定期的に心電図検査が行われます。
　２）この薬の使用中に徐脈、失神、ふらつき、動悸（どうき）などの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
・この薬の使用を開始する時や飲む量を変更する時に、傾眠（刺激がないと眠ってしまう）や血圧低下などの副作用があらわれることがあるので、患者さんの状態にあわせて慎重に飲む量が調節されます。
・死にたいという気持ちになる、死のうとする行為などがあらわれることがあります。患者さん自身が病状に変化があったと感じた場合や、小児の患者さんの保護者またはそれに代わる方が患者さんの状態の変化について注意して観察し、変化がみられた場合には、すぐに医師に連絡してください。また、小児の患者さん自身も病状に変化があったと感じた場合には、保護者またはそれに代わる方にも伝えるようにしてください。
・ＡＤ／ＨＤの患者さんにおいて、攻撃的になったり、敵意をもったりすることがしばしば見られますが、この薬の使用中にも攻撃性や敵意があらわれるとの報告があります。患者さん自身、または小児の患者さんの保護者またはそれに代わる方は、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。
・眠気や鎮静などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
・この薬の使用により体重が増加することがあるので、定期的に体重を測定し、肥満の徴候があらわれた場合は、医師に連絡してください。食事療法や運動療法などが行われます。
・アルコール飲料はこの薬の作用に影響しますので、控えてください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血圧 ていけつあつ	脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失
徐脈 じょみゃく	めまい、立ちくらみ、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、ふらつき
頭部	めまい、立ちくらみ、意識の消失、気を失う、 短時間、意識を失い倒れる
胸部	息切れ
手・足	脈が遅くなる、脈がとぶ

【この薬の形は？】

販売名	インチュニブ錠１ｍｇ	インチュニブ錠３ｍｇ
形状	円形の錠剤 	円形の錠剤
ＰＴＰ シート	 表面　裏面	 表面　裏面
直径	７．１ｍｍ	７．９ｍｍ
厚さ	４．０ｍｍ	４．０ｍｍ
重さ	１５０ｍｇ	２００ｍｇ
色	白色	淡緑白色
識別コード	５０３：１ＭＧ	５０３：３ＭＧ

【この薬に含まれているのは？】

販売名	インチュニブ錠１ｍｇ	インチュニブ錠３ｍｇ
有効成分	グアンファシン塩酸塩	
添加剤	ヒプロメロース、乾燥メタクリル酸コポリマーＬＤ、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、乳糖水和物、ポビドン、クロスポビドン、グリセリン脂肪酸エステル、フマル酸	ヒプロメロース、乾燥メタクリル酸コポリマーＬＤ、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、乳糖水和物、ポビドン、クロスポビドン、グリセリン脂肪酸エステル、フマル酸、青色２号アルミニウムレーキ、黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

・室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田薬品工業株式会社（https://www.takeda.com/jp/）
くすり相談室
フリーダイヤル　０１２０－５６６－５８７
受付時間　９：００～１７：３０（土日祝日・弊社休業日を除く）